

平成19年2月27日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ォ ト ニ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柄 澤 憲 彦
(コード7708 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 取 締 役 吉 安 篤 志
業 務 管 理 部 長
T E L 0 3 - 3 3 6 3 - 7 7 0 8

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月31日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 18年12月期中間連結業績予想数値の修正（平成18年7月1日～平成18年12月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,700	150	95
今回修正予想（B）	1,380	△37	△104
変動額（B-A）	△320	△187	△199
変動率（%）	△18.8	△124.7	△209.5
前期（平成17年12月中間期）実績	1,154	42	81

2. 18年12月期中間業績予想数値の修正（平成18年7月1日～平成18年12月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	350	140	135
今回修正予想（B）	341	63	△27
変動額（B-A）	△9	△77	△162
変動率（%）	△2.6	△55.0	△120.0
前期（平成17年12月中間期）実績	154	13	83

3. 修正の理由

売上高につきましては、超精密計測センサ事業、光計測装置事業はデジタル家電業界の活発な設備投資により受注高は順調に進捗しており、電子機器事業については医療用機器の販売が好調なこと、電子材料その他の事業においても半導体関連の消耗品販売が安定的に推移いたしました。しかしながら、高機能繊維製品の販売について、新規顧客獲得の遅れにより受注高が伸び悩み、当初予想を下回る見込みとなりました。加えてこれに付随した製品の展示会等の販売促進費や、本格的な海外進出を図るための市場調査等の先行投資による費用が拡大し、また投資先企業における減損会計に伴う一部資産の除却及び評価減を実施したことにより、大幅な財務体質改善に繋がったものの、前回発表の経常利益・当期利益予想を連結、単体ともに下回る見込みとなりました。なお、通期業績予想につきましては当初の予想通り変更はございません。

(参考)

連結・単体の通期業績予想につきましては、前回発表数値の修正はございません。

・19年6月期通期連結業績予想数値（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	3,350	270	115

・19年6月期通期業績予想数値（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	460	60	50

以上